

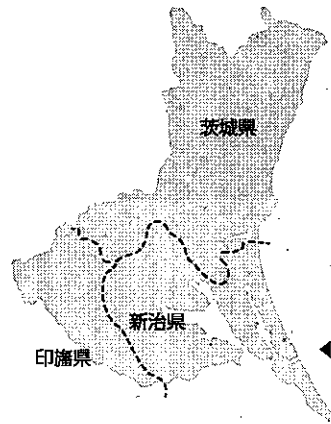
# 茨城県は県政150周年を迎えます

## ～11月13日は県民の日～



### 県民の日について

「県民の日」は、1871(明治4)年に行われた府県の統廃合で、11月13日に初めて「茨城県」という県名が用いられたことにちなみ、県民一人一人が郷土の歴史を知り、より豊かな生活と県の発展を願う日として、1968(昭和43)年に県の条例により定められました。



### 茨城県の誕生

1871(明治4)年7月の廃藩置県により、全国に3府302県が置かれました。同年11月の府県の統廃合によって、茨城県、新治県、印旛県が生まれ、その後、新治県、印旛県との統廃合を経て、1875(明治8)年5月に、ほぼ今の茨城県の形となりました。

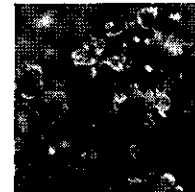
◀1871(明治4)年11月の府県の統廃合による配置

### 茨城県のシンボル



#### 県の花：ばら

茨城という地名にちなみ、1966(昭和41)年3月28日に県の花として定められました。



#### 県の木：うめ

県の木選定委員会が設けられ、県民からの応募数が一番多かった「うめ」が1966(昭和41)年10月6日に県の木として定められました。



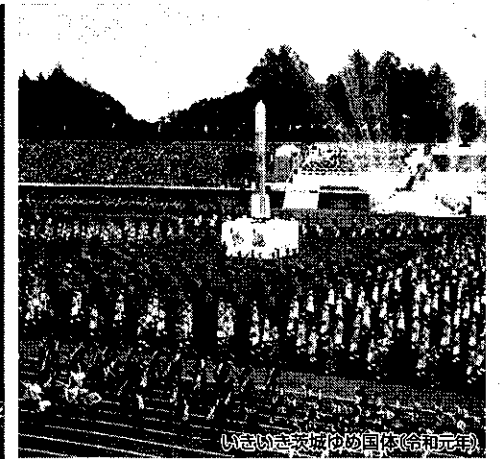
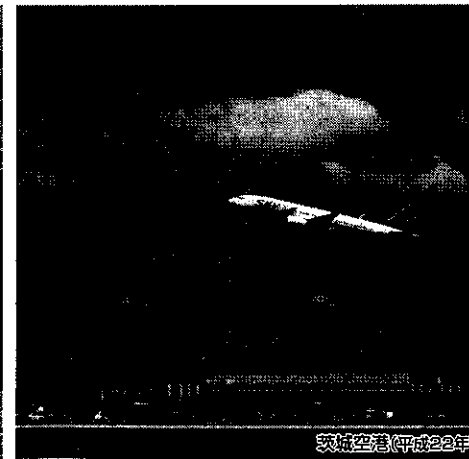
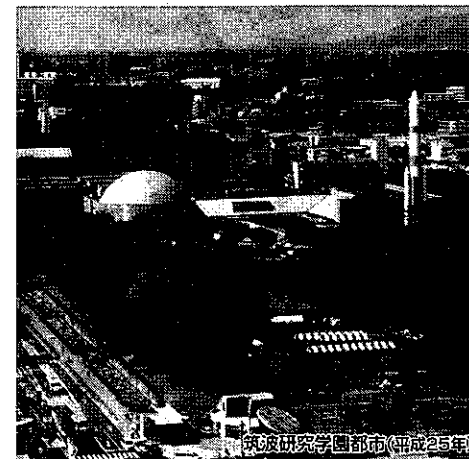
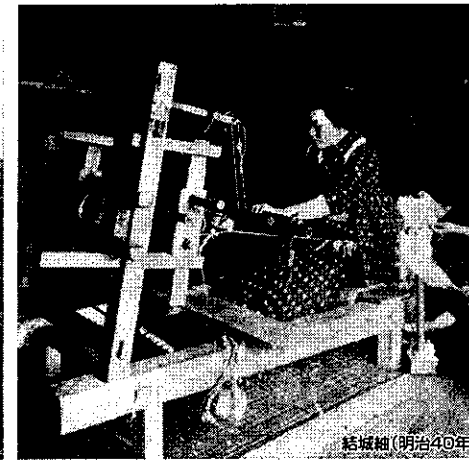
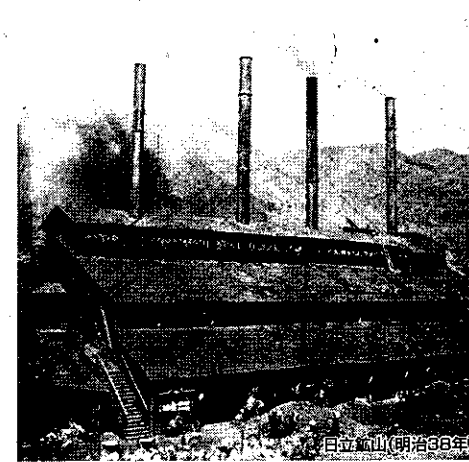
#### 県の魚：ひらめ

県のさかな選定委員会が設けられ、県民からの応募数が一番多く、本県の重要な資源である「ひらめ」が1995(平成7)年6月1日に県の魚として定められました。



#### 県の鳥：ひばり

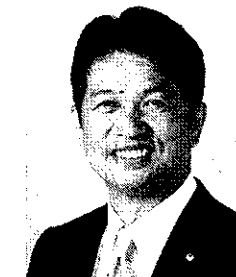
1965(昭和40)年の愛鳥週間に、「県民の鳥」を公募し、県民からの応募数が一番多かった「ひばり」が同年11月3日に県の鳥として定められました。



## 令和3年度 茨城県表彰受賞者一覧

県勢の発展に著しい功績などがあつた方をたたえる茨城県表彰式が、11月12日(金)に県庁で行われました。今年度は、各分野で活躍された53人の方々と12団体が表彰されました。

賞	氏名・団体名	住所	主たる功績・功勞	功績の分野
特別功勞賞表	永瀬 貴規	つくば市	東京2020オリンピック 柔道男子81kg級金メダル獲得	スポーツの振興
	宮島 達男	守谷市	現代美術家、令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞、国際美術展ヴェネチアビエンナーレ参加、個展「クロニクル1995-2020」開催等	教育・文化の向上
	梶原 悠未	茨城大学大学院所属	東京2020オリンピック 自転車トラック女子オムニウム銀メダル獲得	スポーツの振興
	高良 彩花	つくば市	日本陸上競技選手権大会女子走り幅跳び3回優勝、第23回アジア陸上競技選手権大会銀メダル獲得	スポーツの振興
	高橋 利恵子	つくば市	東京2020パラリンピック ゴールボール女子銅メダル獲得	スポーツの振興
功績者	宇野 幹夫	常陸太田市	元(一社)茨城県労働者福祉協議会理事、元日本労働組合総連合会茨城県連合会副会長	産業の振興
	鈴木 一男	五郷町	㈱シャリー代表取締役、元茨城県農業経営士	
	高木 安四郎	神栖市	茨城県水産加工業協同組合連合会代表理事会長、茨城県水産物開発普及協会会長理事	
	高杉 則行	大子町	茨城県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長、久慈川漁業協同組合代表理事組合長	
	羽沢 信作	日立市	元茨城県職業能力開発協会会長、元中央職業能力開発協会参議	



### 県民の日に寄せて

茨城県知事 大井川 和彦

はじめに、新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々のご冥福を謹ん